



テイモシー・
カーター
(クラリネット)
大島直子
(ピアノ)
デュオ・
リサイタル



TIMOTHY
CARTER
CLARINET

NAOKO
OSHIMA
PIANO

ブラームス:「F.A.E.ソナタ」より スケルツォ ハ短調 WoO 2

Brahms: Scherzo in C minor from F.A.E.Sonata WoO 2

ブラームス:クラリネットとピアノのためのソナタ 第2番 変ホ長調 op.120-2

Brahms: Sonata for Clarinet and Piano No.2 in E-flat major, op.120-2

モーツァルト:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ホ短調 K.304

Mozart: Sonata for Piano and Violin in E minor, K.304

バーンスタイン(ティモシー・カーター編):《ウエスト・サイド・ストーリー》より 3つの歌

Bernstein (trans. Timothy Carter): 3 Songs from West Side Story

ガーシュウィン:3つのプレリュード(クラリネットとピアノ編)

Gershwin: Three Preludes (for Clarinet and Piano)

ガーシュウィン(ティモフェイ・ドクシツェル編):ラプソディ・イン・ブルー

Gershwin (trans. Timofei Dokshitzer): Rhapsody in Blue

2023

5/19(金) 19:00開演(18:30開場)

きゅりあん 小ホール
(品川区立総合区民会館)

全席自由 | 3,000円(消費税込)

〒140-0011 東京都品川区東大井5-18-1 / JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町駅」徒歩約2分

お問合せ・お申込み | PCM パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831 (平日10:00~18:00)
www.pacific-concert.co.jp/

プレイガイド | イープラス eplus.jp/ ローソンチケット l-tike.com/(Lコード:35433)

主催:パシフィック・コンサート・マネジメント 後援:株式会社パワート・ジャパン

※就学前のお子様のご入場・ご同伴はご遠慮ください。※都合により公演内容の一部が変更される場合もございます。予めご了承ください。※ご来場の際は極力マスクをご着用の上、感染症予防対策にご協力ください。



ティモシー・カーター

(クラリネット)

Timothy Carter, Clarinet

アメリカ東海岸のメイン州で生まれる。幼少期よりクラシック音楽に興味を抱くようになり、高校・大学とジュリアード音楽院に進学。在学中、ソリスト、室内楽奏者、オーケストラのクラリネット奏者として、京都国際音楽学生フェスティバル、タングルウッド音楽センター、マルボロをはじめ、アメリカ・ヨーロッパ・日本の世界各地で演奏を行う。クラリネットをイェフダ・ジラード、チャールズ・ナイディック、大島文子に師事。第24回日本管打楽器コンクール第2位、フライブルク国際音楽コンクール第2位、第8回日本クラリネットコンクール第1位。2007～2009年には名古屋フィルハーモニー交響楽団の首席クラリネット奏者を務めた。トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンでBunkamuraオーチャードホールに3度登場したほか、新日本フィルハーモニー交響楽団や紀尾井ホール室内管弦楽団に首席クラリネットとして客演している。

現在は神奈川を拠点に、プリティッシュ・スクール・イン・東京、フェニックスハウスインターナショナルスクール、桜美林大学でクラリネットの指導に当たるほか、マリスクールで子供の音楽授業を行う。アメリカや中国でもソロや室内楽で活躍しており、ソリストとしての活動では、クラシックのレパートリーに加えてマルチメディアやクロスオーバーの企画を開発。クラリネットのための編曲作品も多数手掛けている。

www.timothywcarter.com

大島直子

(ピアノ)

Naoko Oshima, Piano

14歳で渡仏し、エコール・ノルマルでジャック・ジャンティに師事。帰国後、遠山慶子に師事。フェリス女学院の音楽科に入学し、山岡優子に師事。中退して再びフランスに渡り、イボンヌ・ロリオ、ジェルメーヌ・ムニエに師事する。フランスを代表する名ヴァイオリニスト、ジャン＝ジャック・カントロフと38回共演し、絶賛を博す。また妹の文子(クラリネット奏者)とのデュオは、アメリカのボードイン音楽祭、日本音楽コンクール、さらにベオグラードでのリサイタル、あるいはラジオ・テレビ出演などで聴衆に鮮やかな印象を与え、高い評価を確立した。また、スイスならびに日本におけるロームミュージックファンデーション音楽セミナーに専属伴奏者として毎年参加した。

2005年より、毎年夏に北軽井沢において妹の文子とミュージックセミナーを開催している。

姉妹デュオによるCDには、アメリカ人作曲家の作品を集めた「アメリカン・スナップショット」、日本の歌ばかり27曲を集めた「十五の心」、また最新盤には、世界的なクラリネットの名手であるチャールズ・ナイディックを迎えて2本のクラリネットとピアノのための作品集を収録した「イル・コンヴェーニョ」等があり、いずれも高い評価を得ている。

現在に至るまで日本国内を始め海外でも意欲的な活動を続け、数々の演奏家の伴奏者、室内楽奏者として活躍している。